

ひろば大代

NO. 263

大代公民会



就任に当たって

柿田 横手新治郎

こころざし半ばにして急逝された、
笹木前館長のご冥福を、皆さんと共に
心からお祈りいたしたいと思ひます。

この度、大代公民館運営委員会の皆
さんのご推薦により、大田市教育委員
会から委嘱状を頂き、館長に就任致し
ました。

不肖私はその識見、能力を持ち合わ
せておりませんので、お断りいたしま
したが、このまま館長不在の期間を引
き延ばすことは出来ない、との委員の
皆さんの強い意向により、やむなく引

き受けいたしました。残された期間、
町民各位のご協力により任務を果たし
たいと思っておりますのでよろしくお
願い申し上げます。

まず急いで協議し進めなければいけ
ない事業は八月に行なう都市交流事業
があります。十五年の久しきにわたり
先輩各位の努力により継続されており
ます大代特有の事業ですので、その趣
旨・目的に沿い盛会に開催し、記念す
べき二十年に引き継ぎたいものと思ひ
ます。

今、大田市では「いつでも、どこで
も、だれでも」学べる生涯学習社会を
作り出そうという基本構想が出来、活
動が展開されています。

ごく最近の活動ではパソコン研修が
あります。五月二十一日から六月十二
日までの九日間、延べ十二時間の研修
でした。

電源の入れ方、切り方から始めインタ
ーネットの接続までの簡単な操作の研
修でしたが、三七歳から七十歳までの
十八人の方が受講されました。また、

中古のパソコンですが一台、市より貸
与を受けています。町民の皆さんにも
お使いいただきたいと思ひますので、
気軽にお立寄りいただきますようお知
らせしておきます。

微力ではございますが、生涯学習活
動の拠点としての公民館づくりのため
努力いたしたいと思っておりますので
町民の皆様の一層のご指導、ご鞭撻、
ご協力を心からお願ひ申し上げます。
といたします。

大田市消防団

小型ポンプ操作を練習して



四日市 中垣喜満

今年の選手は、経験者ばかりで

指揮者 中垣喜満 一番員 田辺 優

二番員 長谷和幸 三番員 田辺 隆

吸管補助員 山根義雄 大会補助員

向井 清 以上六名が出場することに

なりました。

大会では整頓から撤収までの数分間で終わる競技です。はじめの頃は操法はしなくてもいいと思っていました。が、実際に火災に出動すると、ホースや筒先を持って走り出しています。やはり経験しないとなかなか出来ないなあと思いました。

今年から機構改革ということで五ブロックから各一チームと、出場したいチームの七チームで競います。

大代は大森、水上、祖式の高山ブロックの代表で出場することになりました。

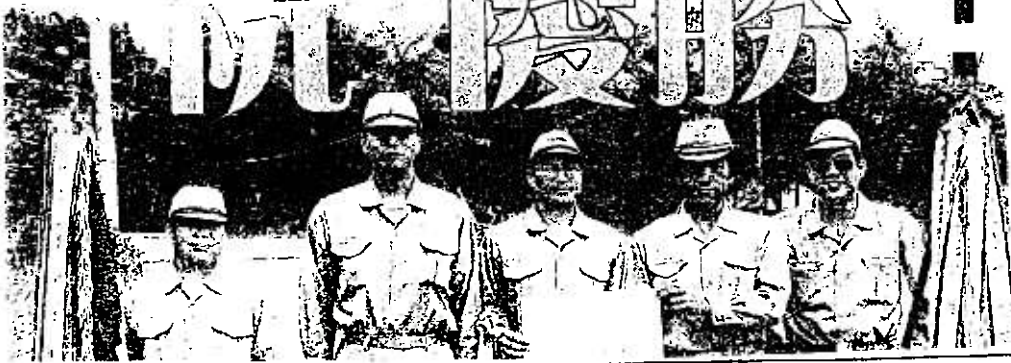
僕は四年ぶりに今度は指揮者として出場することとなり、他の団員さんに教えてもらい、ホースを巻いてもらいながら小学校のグラウンドで練習をし、消防署で間違いを直してもらってまた練習です。しかし、普段の運動不足のため足が思うように前に進まなかったり、止まらなかつたりと悪戦苦闘しています。

あと大会まで一週間余り、仕上げの段階になりホース、吸管を伸ばし、タ

イムを計って十七日の大会に合わせて調整するだけになりました。あとは練習の成果と天気が良いればと思っ

第43回大田市消防団操法訓練大会

祝優勝！



祝優勝！ 大代分団おめでとう

六月十七日(日)大田小のグラウンドにて小型ポンプ操法大会が行われ、見事優勝され、八月五日(日)柿木村で開催される具大会に出場される事が決まりました。ご健闘をお祈り致します。



第十回関西高山会

記念総会を終わって

関西高山会副会長 中本 弘

二十一世紀に入って最初の総会、しかも十回目、十年という節目の総会である。六月十日 大阪市内の南平安閣の四階を借り切って記念総会をした。

その席に故郷大代から高村自治連合会長・田辺婦人会長・藤井房子様をはじめ、五名の方々を、東京石見高山会

から楠会長・松本事務局長を迎え、盛会のうちに終了したことを皆様に報告します。

さて、今回の総会で特筆すべき事を三点申し上げます。

先ず一点は今回は記念総会である。何か行事をしよう、それも明るくそして楽しい雰囲気、元気の出る行事を考えた。

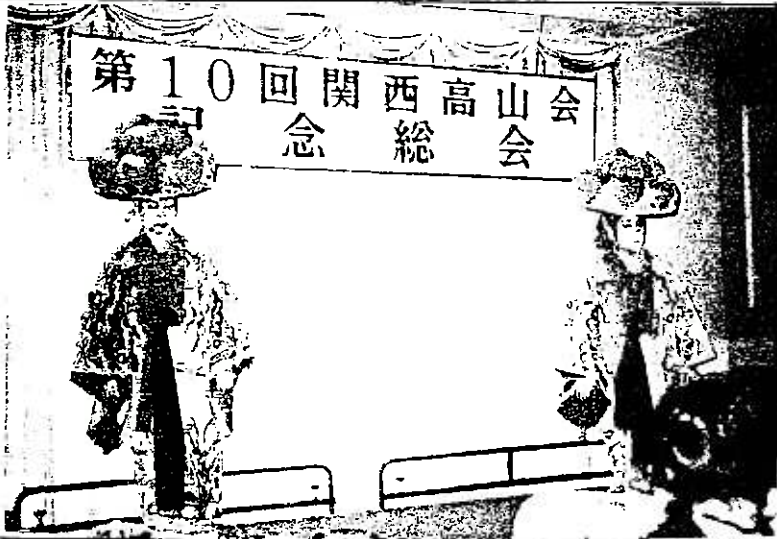
二点は十回目を節目として高山会の運営体制を変えたこと。

三点目はこの際、関西高山会の会員名簿を新しくすることである。

記念総会の行事は、田辺会長の顔が広く人脈のあるところからお願ひした結果「琉球おどりとプロの歌手」を呼んで、それをメインにしてパツと明るく楽しい雰囲気とした。

二十一世紀は沖繩を始め奄美大島等琉球の島々が繁栄するのではないかと考えられるからである。NHKの朝の連続ドラマ「ちゆらさん」も沖繩が舞台であり、今年の春の選抜高校野球大会も沖繩勢が活躍した。また琉球踊り

も珍しいのではないかと思つたからである。奄美大島出身の美人歌手もさすがはプロだけあつて懇親会を盛り上げてくれた。



運営体制であるが今回をもって田辺会長から田中公道会長にバトン・タッチ、また事務局長も木村滋男氏になる。どんな良い組織・体制であつても長

みると弊害も出てくる。変わらなくてはと思う。新しい発想のもとに実施していくためには、先ず体制を変えることが必要である。今後の課題は如何にして総会をはじめ会合に会員の皆を集めるかである。

この件については総会の後新役員が集合し、検討した結果、各年代別に大阪での同窓会の集合場所にしたらどうかという意見があつた。

関西高山会の名簿のことであるが、平成五年に作成したが第一回総会から一度も出席せずかつ年会の納入がない方、及び都合で辞退させてほしい希望者等を整理して作成した。

尚、思い起こせば発足当時から市原初代会長・田辺会長・曾根副会長そして私と十年間、関西高山会の火を消すことなく今回引き継ぐ事が出来ました。その間、会運営の紆余曲折あつたが嬉しいこともあつた。例えば阪神淡路大震災の時に故郷大代から当時の渡公民館長が中心になつて温まる励ましの言葉、ご支援の数々金品を頂きました事、

これこそ高山会の目的「親睦」であると感激・感動した。

また発足当時から物心両面で温かいご支援していただいた、当時の田辺館長をはじめ東京石見高山会の田中・楠両氏に支えられた賜と考える。

先日、田辺孝氏に電話連絡する機会がありその時、記念総会であるが会員の皆さん方の出席が少ない。これもご期待に添えるような会の運営が悪いと反省していると申し述べると、氏いわく「中本さん、会の火を消さないで引き継いで頂ければよいです」と反対に励まされ、ああお世話して良かったなと逆に感激した。

なお会場で曾根副会長に私の家内まで「内助の功」だと紹介していただきかえって恐縮したことを付言します。

最後に私事ですが、故郷大代町には形あるものは残っておりませんが大江高山をはじめ、どんだん淵、鬼が峠等の自然や幼少期に心・体を育んでいただいた叔父さん・叔母さん等多くの人々、私にとって「心のふる里」は残っ

ています。

二十一世紀に向けて故郷大代が中心となり東京石見高山会そして関西高山会とが会の目的「会員相互の親睦」のため益々発展することを祈るとともに更に微力ではありますが何かのお役にたてばと考えています。

私の持論「人生とは感激・感動の積み重ねである。限られた命の中で一つでも二つでも本当によかったなと思う心を育みたい。発足当時から陰に、また陽になり支えてくれた多くの皆さん方に本当に有難うございましたと心から申し上げます。

* 七月行事予定 *

◆ 3日(火) あすなる句会

◆ 17日(火) さくらんぼ教室

◆ 18日(水) 編集委員会

◆ 23日(月) 連合自治会



★—★ お知らせ ★—★
◎大代地区社協より
下谷 竹間 茂様から

香典返しにかえ金一封のご厚志を頂き厚くお礼申し上げます。

訂正 先月号に間違いがありましたのでお知らせ致します。

×か 開墾に命捧げし銀之丞
○か 開墾に命捧げし銀之丞

明治時代、八代に国道九号線をつける工事の折、監督として松江からきていた森銀之丞(二十才台の若い技師)が、飯谷の山根さんと笹木さんの間の堀割工事が難行し、自らつるはしで岩を除く作業の時、その下敷きになって亡くなられたことを記した碑を詠んだものです。